

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 上北地区研修

5月26日(木)10:00~15:00 県総合社会教育センター 再生回数62回

1 趣旨

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と、人財育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る。

2 内容

【講義】「活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成」

講師： 弘前大学教育学部 准教授 蒔田^{まきた}純^{じゆん}氏



3 講義要旨

- 地方創生のために、新しいアイデアで取り組むことが効果的である。その時、「つなぐ」「組み合わせる」という意識を大切にしたい。
- 昨今、注目されている経済の動きに「シェアリングエコノミー（共有経済）」というものがある。
- 地域に住んではいても、気づかぬ魅力・力がある。そこをうまく活用することで、活力ある地域づくりへとつながる。

4 アンケート結果から

受講結果に満足	66.7%	どちらかと言えば満足	33.3%
どちらかと言えば満足	0%	不満	0%

(受講者の感想)

- 配信形式の研修でしたが、頭を柔らかくし多様なアイデアを生み出す問題タイムなどもあり、自分も一緒に参加しているという気持ちで視聴することができました。また、研修内容については地域を盛り上げる具体的な例などを紹介していただき、人口減少が続いている中でどのような取り組みができるのか大変参考になりました。
- 最初の点と点を結ぶクイズからぐっと心を掴まれました。発想が広がらず3問目でようやく正解と、頭が硬くなっていると実感しました。講義を聞き、全国の自治体などの取り組みを知り、自分にできることはないのかと改めて考える機会となりました。“何もない”ではなく“すでにあるもの”の中に価値を見出し、新しい価値を創造していくことが、地域が独自性を持ちつつ発展していく道だと実感しました。
- 世の中には、使われていないものや捨てられているものを、ちょっとした工夫で活用できることがたくさんあることを知りました。やわらかい考え方で、物事を捉えることが大事だと感じました。また、深く考えすぎずに、何が必要なのか、単純に考えることも大事だと思いました。

本研修は、当初、会場集合型で実施する予定でしたが、いわゆるコロナ禍により講義を録画し、それを後日視聴する形で実施しました。再生回数も60回を超え、当該地域の社会教育関係職員の研修に対する前向きな姿が表れています。

講師の蒔田先生が訴える『「つなぐ」「組み合わせる」という意識を大切にしたい』ということは、そもそも地域にはその素材や力があるという主張でもあり、関係職員への励ましとも感じられました。自分の地域がもっている力とは何かを考える良い機会となりました。